

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況 (非連結)

平成 15 年 8 月 8 日

会社名 株式会社 大戸屋  
(URL <http://www.ootoya.com>)

(コード番号: 2705 登録銘柄)

代表者 役職名 代表取締役社長  
氏名 三森久実

問い合わせ先 責任者役職名 取締役社長室長  
兼経営企画部担当

氏名 秋山 潔

TEL (03) 5206 - 7500

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近会計年度 : 無  
における認識の方法との相違の有無

2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期業績の概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日)

(1) 売上高

(注) 金額は百万円未満切り捨て

	百万円	%
16 年 3 月期 第 1 四半期	2,824	( )
15 年 3 月期 第 1 四半期		( )
(参考) 15 年 3 月期	10,615	(21.2)

(注) 1. パーセント表示は、前年同四半期比増減率及び前期比増減率を示す。なお、第 1 四半期については、当四半期より作成しておりますので、前年同期との対比は行っておりません。

2. 当四半期に係る売上高は、公認会計士または監査法人による監査を受けておりません。

部門別販売実績

当四半期の販売実績を販売形態別に示すと次のとおりであります。

(注) 金額は千円未満切り捨て

区分	平成 15 年 3 月期 第 1 四半期 (自 平成 14 年 4 月 1 日 至 平成 14 年 6 月 30 日)		平成 16 年 3 月期 第 1 四半期 (自 平成 15 年 4 月 1 日 至 平成 15 年 6 月 30 日)		対前年 同期比 増減率	(参考) 平成 15 年 3 月期 (自 平成 14 年 4 月 1 日 至 平成 15 年 3 月 31 日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
定食事業	千円	%	千円	%	%	千円	%
			2,762,846	97.8		10,553,804	99.4
フランチャイズ事業			61,905	2.2		61,492	0.6
合計			2,824,752	100.0		10,615,296	100.0

(注) 1. 第 1 四半期については、当四半期より作成しておりますので、前年同期との対比は行っておりません。

2. 当四半期に係る売上高は、公認会計士または監査法人による監査を受けておりません。

3. 金額に消費税等は含まれておりません。

地域別販売実績

当四半期の販売実績を地域別に示すと次のとおりであります。

(注) 金額は千円未満切り捨て

区分	平成 15 年 3 月期 第 1 四半期 (自 平成 14 年 4 月 1 日 至 平成 14 年 6 月 30 日)		平成 16 年 3 月期 第 1 四半期 (自 平成 15 年 4 月 1 日 至 平成 15 年 6 月 30 日)		対前年 同期比 増減率	(参考) 平成 15 年 3 月期 (自 平成 14 年 4 月 1 日 至 平成 15 年 3 月 31 日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
東京都	千円	%	千円	%	%	千円	%
			1,939,740	68.7		7,577,626	71.4
神奈川県他			885,012	31.3		3,037,670	28.6
合計			2,824,752	100.0		10,615,296	100.0

(注) 1. 第 1 四半期については、当四半期より作成しておりますので、前年同期との対比は行っておりません。

2. 当四半期に係る売上高は、公認会計士または監査法人による監査を受けておりません。

3. 金額に消費税等は含まれておりません。

[ 売上高に関する補足説明 ]

当四半期における我が国経済は、企業収益及び株価の回復に期待が高まり、設備投資に緩やかながら持ち直しの動きが見られたものの、長期に亘るデフレの深刻化、雇用・所得環境に改善の兆しが見られないことから、景気の先行きに対する不透明感が強まり、個人消費の低迷が依然として続く厳しい状況で推移いたしました。外食産業界におきましては、消費マインドの冷え込みを受けて、顧客獲得に向けた企業間競争が、より一層激しさを増す等、厳しい経営環境の中で推移いたしました。このような状況の下、当社は、商品力及び従業員教育の強化に引き続き努めて参りました。当四半期におきましては、出店地域を首都圏以外へ拡大し、平成 15 年 6 月 6 日、関西地区第 1 号店「大戸屋ごはん処道頓堀店」を新規出店いたしました。また、6 月 15 日より、グランドメニューの改定を図るとともに、既存店舗の改装を実施する等、顧客満足度の向上及び既存店舗の活性化に注力して参りました。その結果、当四半期は直営店 5 店舗（ジャスコ鎌取店、品川グランパサージュ店、横浜ビジネスパーク店、道頓堀店、丸の内新東京ビル店）の新規出店及び 2 名の社員に対する「のれん分け」を実施し、当四半期末稼働店は直営店 103 店舗及び F C 店 4 店舗（「のれん分け」による社内 F C 3 店舗を含む）の合計 107 店舗となりました。新規直営店 5 店舗の売上高は 67 百万円であります。当四半期の売上高は 2,824 百万円となりました。定食事業の売上高は、新規直営店の出店効果等により、2,762 百万円となりました。F C 事業の売上高は、2 店舗の「のれん分け」による F C 店舗数の増加等により、61 百万円となりました。

(2) 当該四半期において会社の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成 16 年 3 月期の業績予想（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

(注) 金額は百万円未満切り捨て

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	5,846	325	175
通 期	12,000	700	360

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 64 円 31 銭

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

平成 15 年 5 月 16 日に発表しております平成 15 年 3 月期の業績見通しは上記のとおりであり、本見通しに変更はありません。

上記の次期業績予想は、現在当社が入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであります。したがって、今後の経済動向に係る変化等により、実際の業績とは異なる結果となる可能性があります。

以 上